

あお

もり

県民
だより

2015
10
月号
No.153

CONTENTS 目次

平成27年10月1日発行(偶数月1日発行)

- 特集: 青森のおいしい「食」が未来を拓く 1~5
- 申吾のほっとコラム 6
- 10月は「木づかい推進月間」です / 「おもてなしアワード2015」
- 人口減少克服 未来を変える挑戦 7
- おいしく健康「だし活」ごはん! / あおもりインフォメーション 8

青森のおいしい「食」が未来を拓く



青森のおいしい食は、豊かな自然の恵みと 惜しみない愛情から生まれています。



青森県は、ブナの原生林が広がる世界自然遺産白神山地や八甲田連峰などの緑豊かな森を擁し、冬は深い雪に覆われます。春が訪れると、その清らかな雪溶け水は土に蓄えられ、豊饒な大地を形成します。この恵まれた自然環境に生かされ、青森人の愛情に育まれた良質な農林水産物が実ります。

豊かな森林がもたらす水資源。肥沃な土。生産者の愛情。青森県では、この「水・土・人」の基盤づくりに力を入れ、強みへとつなげてきました。この3つの要素が揃っているからこそ、高品質な米、野菜、果実、畜産物、水産物などバランスのとれた食材が生み出され、青森ブランドは全国トップブランドへと成長したのです。

中でも、青森県の米づくりには、冷涼な気候のため、冷害や病虫害に悩まされながらも、「いいものを作るためには努力と情熱を惜しまない」生産者の正直で生真面目な思いがあります。生産者がひた向きに取り組んできた結果が、「つがるロマン」「まっしぐら」といったあおもり米のブランド化、そして、いよいよ本格デビューする本県初となる「特A」評価を取得した「青天の霹靂」です。

今回の特集テーマは、「青森のおいしい「食」が未来を拓く」。今後、本県の強みである「食」の魅力を更に磨きあげるために、生産者が丹精込めて育てた、青森のおいしい「食」を県民一丸となって盛り上げ、明るい未来を拓いていきましょう。

表紙: 古川寛三さん(右) キヌ子さん(中央) 将路さん(左)